



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

第三八二号

立冬

十一月七日

志摩の円空

えんくう

江戸時代初め、仏像を作りながら全国を旅した僧侶、円空。その独特の作風である荒々しい鋭彫りの仏像は、円空仏と呼ばれ、今も人気があります。円空はちょうど伊賀出身の俳人、松尾芭蕉と同じ世代。この時代、全国を旅した人々が多くいたことがわかります。

円空は、延宝二年（一六七四）、志摩地方を訪れています。その際には仏像を製作するだけでなく、珍しく絵も描いているのです。現在、三重県総合博物館で開催中の企画展「三重の円空」の会場にはずらりと円空の絵が並んでいました。

円空は志摩地方で何をしていましたのでしょうか。大般若経六百卷の修理を頼まれ、その経本の見返しに釈迦説法図を描いていたのでした。会場では絵の解説をはじめ、壁には拡大した絵が飾られ、円空の絵画の世界を堪能することができます。第一巻では細かく仏たちが描き込まれているのですが、次第にのびのびとした筆遣いに変わっていく様がよくわかります。志摩滞在中の円空になにか変化がもたらされたのうかがえます。

そして、志摩滞在中に製作したと考えられる仏像も展示されています。円空が朝熊山へ登る途中で作ったといわれるのが磯部町五知の薬師堂に納められた薬師三尊立像。三体ともに異なる表情が円空らしさでしょうか。また、朽ちかけた板状の材に彫刻した聖観音菩薩立像や樹皮が付いたままの材に目と口のみを彫った護法神像（ともに阿児町立神の少林寺）、志摩町片田の三蔵寺の聖観音菩薩立像は鋭彫りの跡がはっきりと残るものです。今から二十数年前、地域誌の編集に携わっていた頃、志摩の円空を特集企画したのですが、結局通りませんでした。その残念な気持ちとやはり志摩の円空仏はすばらしいという思いで、じっくりと鑑賞しました。十二月四日まで。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○『第20回 神恩感謝日本太鼓祭』

今年も神恩感謝の太鼓を神宮の神様に奉納します。

日 時／11月12日(土)、13日(日) 10:00～17:00

場 所／おかげ横丁「太鼓櫓」、五十鈴川河川敷特設舞台
※諸事情により一部変更もしくは中止する場合があります。

出 演／糸島二丈絆太鼓(福岡県)、江戸雛子 若山社中(東京都)、
大阪高等学校和太鼓部「笑龍」(大阪府)、熊野鬼城太鼓(三重県)、
御陣乗太鼓保存会(石川県)、神恩太鼓(三重県)、大太坊(長野県)、
焔太鼓ユニット(石川県)、舞太鼓あすか組(奈良県)、
まといの会(愛知県)、和太鼓会 和光太鼓(埼玉県) <五十音順>

● 大太鼓一人打ちコンクール

演奏を楽しむ心と、演奏の技術を競います。上位2名の方には、13日開催の神宮奉納演奏に参加いただきます。

日 時／11月12日(土) 予選10:00～11:30、決勝14:30～15:30

場 所／五十鈴川野遊びどころ

出 場／加藤慎二(茨城県)、長副祭之路(福岡県)、水落健(北海道)、近藤玲未(東京都)、
佐脇歩夢(三重県)、滝琉太朗(大阪府)、小田新汰(石川県)、塚本鷹(東京都)、
山田哲生(兵庫県)、國分入道光雲(愛知県) <出場順>

● 子ども太鼓

地元の子どもたちが伊勢の自然の中で力強い太鼓を響かせます。

日 時／11月13日(日) 午前の部10:00～12:00、午後の部13:00～15:00

場 所／五十鈴川野遊びどころ

出 演／伊勢古市翔龍会(伊勢市)、おばた離宮院子ども和太鼓(伊勢市)、
和太鼓 響座いなせ組(松阪市)、津 高虎太鼓(津市)、熊野水軍子供太鼓(紀宝町)

お問合せ／おかげ横丁総合案内 TEL0596-23-8838

五十鈴塾

○『「絵巻物」を読む～「一遍聖絵」公界の人々～』

鎌倉時代、時宗を起こした一遍上人の活動を描いた絵巻で一遍上人絵伝または一遍聖絵といわれています。一遍の死後10年後に高弟の聖戒が詞書きを書き円伊が絵を描いたもので、当時の資料的価値が高く国宝になっています。一遍は独自の踊念仏という信仰を生み出し、全国を遊行して貴賤を問わず念仏を通して民衆の教化をしました。絵伝には活動の様子ばかりではなく、背景の自然描写が美しく描かれ、各地の寺院なども取り入れられ、名所図会的なものともなっています。公界(くがい)とは私的なことに対する公界で、世間一般つまり庶民の暮らしという意味です。このリアルな絵伝から神崎先生とともに当時の暮らしを偲んでみましょう。

日 時／11月15日(火) 18:30～20:00

講 師／神崎 宣武(民俗学者・五十鈴塾塾長)

参加費／一般 1,700円 会員 1,200円

場 所／五十鈴塾右王舎

【オンライン講座日程】

日 時／11月15日(火) 18:30～20:00

参加費／全員 1,200円

配 信／ZOOM配信(ストアカ)

※オンラインの配信講座は同時中継いたします。オンライン講座希望の方は直接ストアカにお申し込みください。視聴についてのお問い合わせは五十鈴塾まで。電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○『節気菓子』

くり
栗かのこ

晩秋から初冬へと季節は移ろい、伊勢路の空に浮かぶのは明るく美しい月の姿です。
大納言小豆に栗を置き、澄んだ秋の夜を表現しました。

うずら餅

冬の足音が近づくと、野生の鶉が伊勢の里に姿を見せます。
栗と粒餡を求肥で包み、愛らしい鶉の姿に仕上げました。

こう
紅 葉

神路・島路の山々にも紅葉の季節が訪れ、山のふところには所々に鮮やかな赤みが見られます。
二色のきんとんで山々の秋を彩りました。